



一般社団法人
建設プロジェクト運営方式協議会
Construction Project Delivery System Council

第1号議案 事業報告・収支報告

2021年6月3日
通常総会

2020年度 事業報告・収支報告

1. 総会・理事会
2. コロナ提言（2020年4月）
3. 委員会活動
 - （1）資格認証委員会
 - （2）普及啓発委員会
 - （3）海外連携作業部会
4. オンライン開催シンポジウム
5. CPDSフォーラム
6. 収支報告

1. 総会・理事会 (1/2)

- 通常総会（オンライン）：2020年6月22日
 - 第1号議案：2019年度事業活動及び状況業収支報並びに財務諸表承認の件
 - 第2号議案：2020年度事業計画及び収支予算の策定
- 第15回理事会（オンライン）：2020年5月26日
 - 第1号議案：2018年度事業活動及び状況業収支報並びに財務諸表承認の件及び
 - 第2号議案：2019年度事業計画及び収支予算の策定
 - 第3号議案：決済規程別紙=決裁権者一覧表の修正の件及び
 - 第4号議案：事務局員選任の件
- 第16回理事会（持回り）：7月15日
 - 第1号議案：シンポジウム開催の件
 - 第2号議案：委員会活動について
 - 第3号議案：アドバイザー業務委託締結の件

1. 総会・理事会 (2/2)

- 第17回理事会（オンライン）：2020年12月3日
 - 第1号議案：2020年度上半期事業報告・収支報告
 - 第2号議案：2020年度下半期事業計画（案）
- 第18回理事会（持回り）：2021年3月1日
 - 第1号議案：ウェブサイト更新業務委託について
 - 第2号議案：書籍出版事業について
 - 第3号議案：官民連携委員会の再開について
- 第19回理事会（オンライン、今回）：2021年5月27日
 - 第1号議案：2020年度事業報告・収支報告
 - 第2号議案：2020年度事業計画及び収支予算の策定
 - 第3号議案：役員を選任について

2. コロナ提言

- 新型コロナウイルス感染拡大を受け、理事を中心にオンラインで議論を行い緊急提言を取りまとめ、2020年4月14日に国交省に提出した。
- 短期的な対応
 - (1) 建設プロジェクト発注者としての安全性の確保
 - 今回のような緊急事態宣言が発令された場合には、各発注者の行う建設プロジェクトを一斉に休止し、現場の感染拡大を食い止めることが、個々の発注者・受注者のみならず、我が国全体としても賢明な選択と思われるが、民間事業においては、当事者間の交渉のみでは効果に限界がある。
 - 緊急時に建設プロジェクトの現場を継続するか、中断するかを個々の発注者が行うのではなく、国の方針に基づき、官民すべての発注者が同じ方向を向いて足並みを揃えられるよう、国土交通省には各自治体への指針等の通達をお願いしたい。民間発注者は、特に緊急事態宣言が出された地域内で建設事業を行う場合、その指針に沿った共通の判断を連携して行うべきである。
 - 4月13日、都内の建設作業所で新型コロナウイルスに感染した建設会社社員が亡くなられた。政府が掲げる“極力8割の接触減”の徹底は、オフィスばかりでなく建設現場も決して例外ではない。国土交通省には、接触8割減を実現するための要請を官民の発注者に対して出すことをお願いしたい。それを受けて国土交通省は現場における適切な調査・確認を行い、安全確保の徹底を図るべきである。

2. コロナ提言

- ▶ 民間発注者は、建設プロジェクトの現場における安全性の確保に努めるとともに、国土交通省が3月19日に通達した内容*を尊重し、工期延長に伴う増加費用等について受注者と協議を行い、適切な対応を図るべきである。また、受注者は、建設現場作業所におけるテレワークの導入やロボットの活用等を積極的に進め、従業者の安全確保と業務の効率化を図る必要がある。

(2) 感染症の患者を収容する施設の一時的提供

- ▶ 民間事業者は、ホテルやコンベンションセンターをはじめ保有する施設や土地を一時的に提供し、主に軽度の感染症患者を受け入れる病床・施設の整備に可能な限り協力するべきである。

(3) 仮設病床・施設整備の発注者支援PM・CM等人材派遣

- ▶ CPDS協議会としては、現状の喫緊の課題である仮設病床・施設整備にあたり、当協議会の会員等のリソースやノウハウを活用し、建設プロジェクトの発注者を支援するため、PM・CMや建設技術者等の人材の派遣を行う。

2. コロナ提言

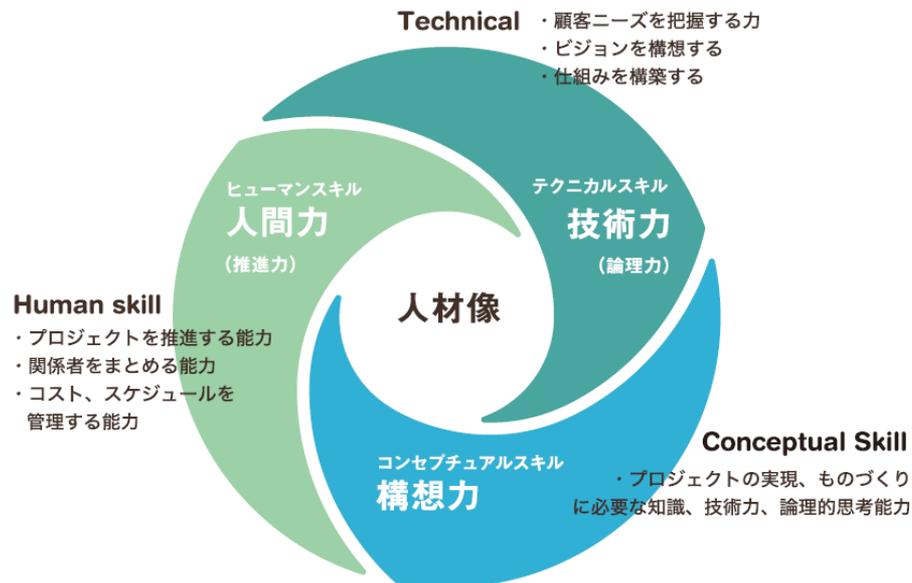
- 中長期的な対応（詳細については、今後議論を重ね詰める予定）
 - (1) 地域の自治体・医療機関・民間企業の連絡協議会等の立ち上げ
 - ▶ ウイルス感染に限らず、地震や津波、台風を含む自然災害の発生時など非常時に迅速な対応を可能とするため、日常的に各地域の自治体・医療機関及び民間企業が情報を共有し対策を講じることのできる連絡協議会等を各地に立ち上げ、横連携を強化することを提案する。
 - (2) Disaster Managementの国際会議の開催
 - ▶ 地震、津波や台風等だけでなく、ウイルス感染対策をテーマにしたDisaster Managementの有識者が参加する国際会議を日本が主導して定期的で開催し、今後の対応を議論して情報の共有・発信を行う仕組みづくりを提案する。
 - (3) 建築や都市インフラにおけるウイルス対策の推進
 - ▶ 感染症に対するレジリエンスの高い都市インフラや建築の技術的な指針を策定して、それに準拠したインフラ・建築物の整備を進めることで、感染症に強い都市・国土の実現をめざすことを提案する。

3. 委員会活動（1）資格認証委員会

- 第1弾の資格認証として、CPDS理事5名をMPMに認証した。
- 2021年5月、ウェブサイトにもMPM紹介ページを開設、公開している。

マスターオブPMに求められる人材像

CPDSが定義する「プロジェクト・マネジメント力」の3要素



宮田秀明委員長

3. 委員会活動（2）普及啓発委員会

- 下記3点のテーマについて、個別に対応を行った。
- ① 発注方式に関する意識調査取りまとめ：
2018年にCPDS会員企業を中心に行ったヒアリング調査を論文にまとめ、日本建築学会論文集へ投稿し、採択された（2021年8月に論文集に掲載予定）。
- ② 発注方式に関する書籍（または報告書）作成：
2021年1月、彰国社からの書籍の発刊が正式に決定した。4月より同社との原稿確認の打合せを毎月開催し、2021年内の発刊を予定。
- ③ PFI事後評価研究：
国交省営繕部からPFI事例の保全データ等を提供頂き、志手委員長の研究室が主体で分析を実施。修士論文の中で取り扱った。
- 2020年は①②のアウトプット作成作業を主体にしつつ、②について経過の共有や普及展開方法を議論するための委員会を開催した。



志手一哉委員長

発注方式に関する意識調査取りまとめ

- 日本建築学会論文集（査読あり）での採択が決定。

論文
タイトル

設計段階に施工者と発注者支援者が関与する発注方式に対する
各主体者の意識に関する研究 – 実務者へのヒアリングに基づいて –
RESEARCH ON EACH ACTOR'S' AWARENESS OF PROCUREMENT METHODS
INVOLVING CONTRACTORS AND CONSULTANTS IN THE DESIGN PHASE
– Based on interviews with persons in charge –

- 分析の切り口と主要な考察は以下の通り。

分析の
切り口

- ① 『施工者の早期参入』に対する各主体者の捉え方
- ② 『発注者支援者の導入』に対する各主体者の捉え方

調査結果
から導かれ
る主要な
考察

- ・ 施工者のプロジェクトへの早期参入、および発注者支援者の導入に着目し、その効果・課題をそれぞれ整理した。この二つの動向は共存することで、課題を補完できる可能性を示した。
- ・ 発注者支援者に求める役割は回答者によってばらつきが大きく、この多様性が発注者支援者を評価しにくい要因になっている。効果を可視化する仕組みづくりや制度化が有効であると考えられる。

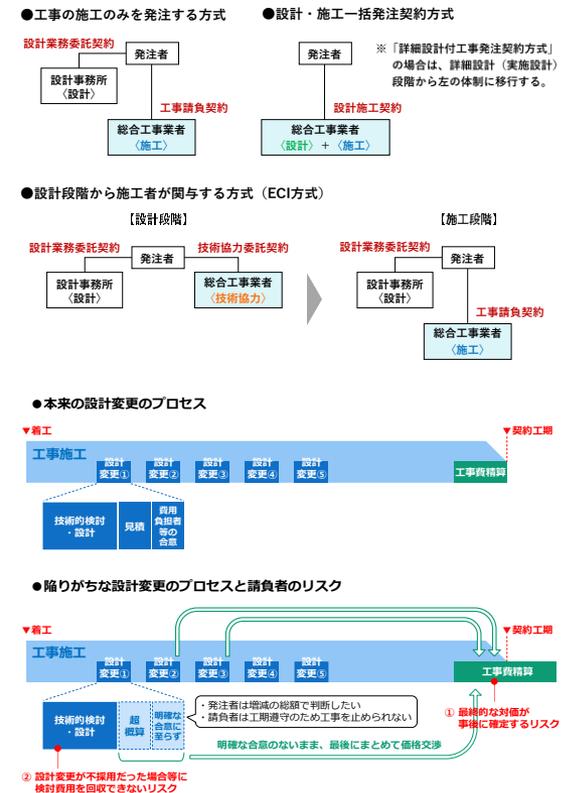
発注方式に関する書籍（または報告書）作成

- 書籍出版が決定し、2021年内での発刊を予定。
- 発注者にも理解しやすいよう、図解による説明を中心とした書籍を目指す。

■目次案（2021.05時点）

第1章	建築プロジェクトマネジメントと発注契約方式
第2章	建築プロジェクト発注契約方式の歴史
第3章	建築プロジェクトの契約におけるリスクと責務
第4章	建築プロジェクトが抱える課題
第5章	建築プロジェクトの透明性
第6章	国土交通省が推進する多様な発注契約方式
第7章	多様化する建築プロジェクトの発注契約方式
第8章	建築プロジェクトにおけるコストマネジメント
第9-11章	建築プロジェクト発注業務の実態
第12章	発注者支援者のあり方
第13章	海外における建築プロジェクトマネジメントの動向
第14章	建築プロジェクト発注の考え方

※その他、発注方式の多様化事例を掲載予定



3. 委員会活動（3）海外連携作業部会

- 以下の作業を実施
 - 海外の建築家・デザイナーと国内のプロジェクトにおいて契約する際の契約書ひな型の作成
 - たたき台を作成し、リーガルチェック待ち。今後は、英訳及びガイドライン作成を行う予定
- 全7回の作業部会を開催
(いずれもオンライン)
 - 第1回：9月25日
 - 第2回：10月30日
 - 第3回：11月25日
 - 第4回：12月22日
 - 第5回：1月28日
 - 第6回：2月26日
 - 第7回：3月30日



中島雷太
リーダー

4. オンライン国際シンポジウム

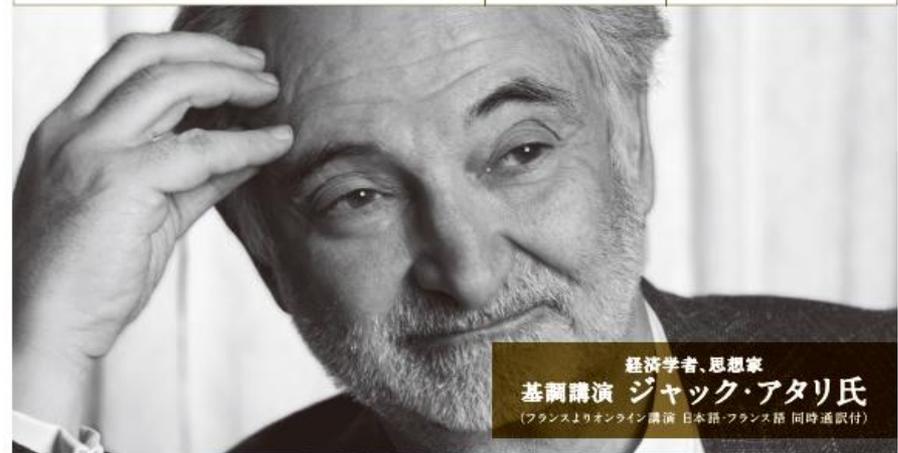
- 9月28日（月）、オンラインで開催。
3つの一般社団法人共催（CPDS＋
環境未来フォーラム＋OPPS）
- 申込数：約4,200名
- 参加者：約2,500名
- テーマ「“欧州の知性”ジャック・アタリ、
ウィズ・コロナ時代の
街・人・世界を読み解く」
- 基調講演：ジャック・アタリ氏
- パネルディスカッション：アタリ
氏、内田和成氏、隈研吾氏、米倉
誠一郎氏
- モデレーター：植村公一副会長
- CPDSウェブサイトで動画公開中
- <https://cpds-c.jp/archives/956>
- <https://cpds-c.jp/archives/986>

“欧州の知性”ジャック・アタリ、 ウィズ・コロナ時代の “街・人・世界”を読み解く

2020年9月28日(月) 16:45～19:00

参加費：無料

参加定員：1,000名



【パネルディスカッション】アタリ氏と共に未来を読み解く登壇者

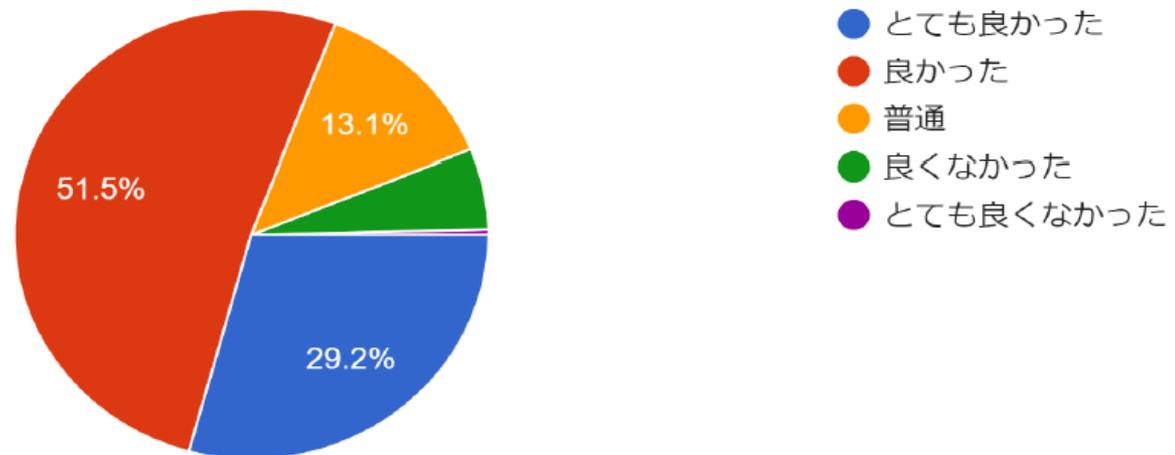


4. オンライン国際シンポジウム

- 開催後に実施したアンケート調査では、260名の方から回答があり、シンポジウム全体の評価は「とても良かった：29%」と「良かった：52%」を合わせ81%以上の参加者に満足して頂いた。映像の質は46%、音質は37%が満足と答えた。良くなかったはそれぞれ11%、19%だった。
- コメントとしては「アタリ氏の講演を原語で聴きたい」「女性の登壇者を加えるべき」といった意見を頂いた。

2-5.シンポジウム全体の感想を教えてください

260件の回答



5. CPDSフォーラム

- 第3回：2021年2月25日（木）「アフターコロナのオフィスの在り方」
 ゲスト：金 英範 氏（株式会社Hite&Co.代表取締役社長）
- オンラインで開催、27名が参加

ABW / TBW

Activity Based Working
Team Based Working



30



通常業務する

絵にする
例える

One-on-One

個人集中

接する・ふらふら歩く



ABW=個人のActivityの生産性UP

TBW=Teamのアクティビティをベースとした生産性UP



調べる
分析する

ワイガヤ
軽く話す

真剣討議
理解を深める

感じ合う



TBW



210225 第3回CPDSフォーラム資料より

6. 収支報告（1）会計収支

- 収入：予算8,935千円に対して、決算12,221千円、3,286千円の増額であった。
- 支出：予算7,335千円に対して、決算8,309千円、975千円の増額であった。
- 次年度繰越金：3,911千円（前受金収入1,600千円を含む）

一般会計収支計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	決算増減額	科目	予算額	決算額	決算増減額
①会費収入	5,400,000	4,800,000	△ 600,000	①事業費支出	6,080,000	7,909,817	1,829,817
②その他収入	120,000	3,510,963	3,390,963	②管理費支出	520,000	399,612	△ 120,388
③財務活動収入	0	495,000	495,000	③予備費支出	734,858	0	△ 734,858
④前期繰越金	3,414,858	3,414,858	0				
合計	8,934,858	12,220,821	3,285,963	合計	7,334,858	8,309,429	974,571
						次期繰越	3,911,392

前受金160万含む

6. 収支報告（2）収入内訳

- 会費は見込み5,400千円に対して4,800千円、△600千円（新規入会なし）
- その他収入はシンポジウム開催協賛金3,511千円（インデックスコンサルティング）

一般社団法人 建設プロジェクト運営方式協議会

2020年4月1日から2021年3月31日まで

（単位：円）

大科目	中科目	小科目	2020年度予算額	2020年度決算額	摘要
収入の部					
事業活動収入	①会費収入		5,400,000	4,800,000	
		正会員会費収入	5,000,000	4,800,000	
		入会金収入	400,000	0	
	②その他収入		120,000	3,510,963	
		出版事業収入	0	0	
		セミナー収入	120,000	0	
		シンポジウム協賛金収入	0	3,510,963	
財務活動収入	④財務活動収入		0	495,000	
		前受金収入	0	0	
		未払金計上	0	495,000	
活動収入合計			5,520,000	8,805,963	
前期繰越収支差額			3,414,858	3,414,858	
収入合計			8,934,858	12,220,821	

6. 収支報告（3）支出内訳

- 事業費支出は予算6,080千円に対して決算7,910千円、1,830千円増（シンポジウム）
- 管理費支出は予算520千円に対して決算400千円、△120千円

一般社団法人 建設プロジェクト運営方式協議会

2020年4月1日から2021年3月31日まで

（第2法）

（単位：円）

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	摘要
支出の部					
事業活動支出	①事業費支出		6,080,000	7,909,817	1,829,817
		会議費	650,000	22,000	CPDSフォーラム等会議費
		研究活動費	700,000	132,000	委員会活動費等
		広報費	1,600,000	5,045,963	シンポジウム、WEBサイト更新費
		通信費	80,000	60,530	事業費：管理費
		事務局経費	3,050,000	2,649,324	を8:2で按分
	②管理費支出		520,000	399,612	△ 120,388
		会議費	50,000	703	事務局会議等
		通信費	20,000	15,133	事業費：管理費
		事務局経費	350,000	291,081	を8:2で按分
		その他費用	100,000	92,695	
予備費支出	③予備費支出		734,858	0	
支出合計			7,334,858	8,309,429	974,571



一般社団法人

建設プロジェクト運営方式協議会

Construction Project Delivery System Council

〒105-6023 東京都港区虎ノ門4-3-1

城山トラストタワー23F 社会システムデザイン株式会社内

Tel 03-6435-9958 Website <https://cpds-c.jp/>
